

ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン

6月号 2021 

Information

発行元：茨石商事株式会社

TEL: 0299-24-2680

http://www.ibaseki.com

powered by イワタニ関東(株)
茨石でんき

燃料費が上がる・・・
こんな時代だから・・・

ガスと電気のセット割で、お得に取り返しちゃう！
ガスとセットで、約10,000円/年の節約！

お申込み・お問合せは ☎ 0120-41-2680

先取り！ 夏エアコン 大特価！

FUJITSU nocria
AS-AH280K

10畳用

先着限定 5名様 **88,000円** (税込み)
標準工事費込み

あれ、エアコンが効かない！

6月になり、暑さも湿気も夏ですね！
エアコンがちゃんと動くことは熱中症対策でも
あります。いざ使おうと思ったら・・・
なんてことが無いように、動作確認してみましょう！



マスク着用時の熱中症に気を付けて

- こまめに水分補給
- 身体を冷やす
- エアコンを活用

熱中症に注意！

<p>快適</p> <p>2WAY除湿 (ソフトクール・ひかえめ) 季節や好みに合わせた 2つの除湿モードでいつ でも心地よいお部屋に。</p>	<p>便利</p> <p>24時間 プログラムタイマー 24時間以内のオン・ オフが同時設定可能。 生活リズムに合わせて 快適に。 *繰り返し設定はできません。</p>
---	---

夏本番の設置工事は非常に混み合います。

お早めにお申込み、お問合せください。

☎ 0120-41-2680

今を切りとる

社長エッセイ

「陽だまりの樹」

私も今年65歳（一応高齢者）となり、中々巡って来ないコロナワクチン接種を心待ちにしている今日この頃です。我々年代の幼少期には夢を与えてくれた多くの漫画家があり、その中でも稀代の天才「手塚治虫」の影響力は多大でした。その当時でも現代社会の進歩をあたかも目撃したかのような知識・想像力には敬服せざるを得ません。（腕時計型電話、物質電送機、3Dプリンター、空飛ぶ車等々）その手塚治虫先生のルーツが石岡と深い関りが有ることをご存じでしょうか？

現在の石岡市が常陸府中藩と呼ばれていた江戸時代末期、藩主・松平播磨守に仕えた手塚良庵という藩医がおりました。手塚先生の3代前のご先祖です。常陸府中藩の初代藩主・松平頼隆は水戸藩初代藩主の五男で徳川光圀（水戸黄門）の弟に当たります。水戸藩同様、府中藩も藩主は江戸詰めであったため藩邸は江戸にあり、



上：架空の府中藩士・伊武谷万二郎

下：手塚先生の先祖・良庵

良庵の顔は「福翁自伝」に書かれたイメージと実際に残る写真を元に描かれた。

石岡には代官の陣屋が置かれておりました。その名残が今の「陣屋門」です。

府中藩の江戸藩邸は現在の文京区小石川で東京メトロ「茗荷谷」駅に近く、播磨坂に名を留めています。良仙・良庵親子は藩医（侍医）として仕え、居宅もその近くでした。そのご縁で石岡市は文京区と交流しております。ご自身も医師であった手塚治虫先生が先祖のルーツを知ったのが「日本医師学誌」に掲載された手塚良庵の記述。

小石川を歩き回り取材し書き上げたのが大河マンガ「陽だまりの樹」なのです。（以前NHK、BS時代劇放映）

また良庵は緒方洪庵の適塾で福沢諭吉と机を並べ蘭学の研鑽に励み、父らと共に当時流行っていた天然痘治療の種痘所の開設に尽力したそうです。（今でいうコロナワクチンか）

常陸国総社宮では手塚プロダクションとコラボし「陽だまりの樹」40周年限定御朱印を頒布します。「火の鳥」や「ジャングル大帝」の絵馬や御朱印帳もお問い合わせ下さい。



吉澤福諭の適塾で福澤諭吉らと蘭学を学んだ良庵と、江戸で種痘所開設に尽力した父・良仙。

リビングとキッチン間の壁を削り、一体とすることで広々とした空間が生まれました。エアコンは、広い空間を一台で賄えるよう、勝手口上部に設置しました。断熱効果を高めるため、勝手口のドアも交換しています。キッチン上部の収納の使い勝手を良くするため、換気扇のダクトをやりくりするなど、目に見えないところも工夫しています。こういう所が後々お客様に喜ばれるポイントだったりします。

工事前



工事後



キッチンと空調のフルリフォーム

工事前



工事後



キッチンとリビングの一体化

癒しの空間づくり

今回は、行方市0様邸のダイニングキッチン、リビングのリフォーム工事のご紹介です。結構な「劇的ビフォーアフター」となりまして。

写真を見比べれば一目瞭然。

収納の少なさが目についたり、少々暗い印象の室内でしたが、明るく・広く・スッキリとした空間に生まれ変わっています。

タカラのキッチンは汚れに強く、作りも頑強です。永くご愛用頂けるでしょうし、何より今回一番注ぎ深く設計したのが、キッチンとリビングの空間の一体化でした。

結果的に、空調の一体化（空気の流れや断熱を高める）、空間の連続性（床、クロス張替え）が実現し、機能性・居住性の高いリフォームができました。

「娘と二人で料理ができるようなキッチンにしたい・収納を多くして空間を広くしたい・暑いのでエアコンを付けたい」というご要望でしたが、「上を行く、気持ちが良いくなるリフォームだ」と、お客様に喜んで頂けました。



施工担当 中根

ふるさと紀行

かすみがうら市 『歩崎観音』



『歩崎観音』の仁王門の様子

『歩崎観音（あゆみざきかんのん）』は、茨城県かすみがうら市にある寺院で、「歩崎山長禅寺」の観音堂の通称である。歩崎は、霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りとに挟まれた、新治台地の東南端の岬で、湖岸低地の穏やかな湖水面は古くは水泳場として知られていた。

長禅寺の略縁起によれば、鎌倉時代、三又沖で暴風雨にあった船頭が南無観世音菩薩と唱えたところ、菩薩が篝火を掲げて現れ、水上を歩いて船を引き、山上にたどりついたといい、これにより「歩崎」の名が付けられたという。また、現在の長禅寺が開基されたのは文明7年（1464）のことで、境内には日光東照宮の造営に携わった工匠が彫刻したという仁王像や、土浦藩主の土屋相模守から江戸末期に奉納された石造の常夜灯なども残り、安産や水上安全の御利益で隆盛していた。岬の展望台からは霞ヶ浦が一望でき、見下ろした天王崎・浮島・馬掛などの湖景は、牛堀から見渡した景観とともに、霞ヶ浦の二大観といわれる。昭和25年（1950）に茨城百景に選定され、昭和34年（1959）には水郷筑波国定公園の一部に指定されている。金色に彩色された歩崎観音「十一面観音像」は長らく33年に一度の御開帳となっていたが、現在は、毎年8月16日に境内周辺の歩崎公園を中心に行われる「あゆみ祭り」の際に一般公開されている。

グラフィティ

「商用電気の販売開始」

昨年より主に住宅向けの電力の販売をしてまいりましたが、この度、事業者向けの低圧電力（動力）の販売を開始いたしました。

東京電力をご利用の事業者様は、弊社にお乗り換え頂きますと料金がお安くなる可能性がございます。料金のシミュレーション（無料）をさせていただきますので、弊社までお問い合わせください。

お店でも！
お得な

茨石でんき
0120-41-2680

